

WIND OF KOBE!

第740号

神戸運輸監理部情報

令和元年12月1日

国土交通省 神戸運輸監理部



今月の監理部情報・目次

- ◆ トライやるウィーク生2名を受け入れました! . . . 2
- ◆ ~いざ! その時! 我々は何をすべきか!!~
◇令和元年度 神戸運輸監理部 総合防災訓練を実施
しました◇ . . . 4
- ◆ 「丹波ゆめタウン」でバリアフリー教室を開催
しました! . . . 6
- ◆ 倉庫業の新規登録 . . . 7
- ◆ 倉庫業の変更登録 . . . 8
- ◆ 管内新造船手持ち工事量 . . . 9
- ◆ 船員職業紹介状況 . . . 10
- ◆ 主要業務指標 . . . 11
- ◆ 12月の行事予定 . . . 12
- ◆ 11月の記者発表状況 . . . 13

フォトミュージアム

トライやるウィークの生徒が
神戸の港エリアを撮影📷

サブタイトル「WIND
OF KOBE!」は、湧き起
こる風の清新さをイメー
ジしています

神戸運輸監理部 総務課編集

◆ トライやるウィーク生2名を受け入れました！

11月11日（月）から15日（金）までの一週間、神戸運輸監理部本局で神戸市立鈴蘭台中学校の2年生の男子生徒2名を「トライやる・ウィーク」として受け入れました。

初日のオリエンテーションでは、まず自分たちの名刺や名札を作成したあと、挨拶の方法や、電話対応などの社会人としてのビジネスマナーについて勉強しました。（すべては、挨拶からです！） 「…おそれいます。」



午後からは、船長から海上での基本的なロープワークを教えていただいたあと、『はるかぜ』で神戸港内を巡回し、神戸港の特徴や翌日からの実務体験に向けた神戸運輸監理部の業務説明を受けました。

「海事クラスター」って何！

2日目は海上安全環境部で、船員手帳を作ったり、小型船舶操縦士免許証を発行する手伝いをしたり、船舶の登録と船舶検査事務を手伝いました。「船の資格はワンピースで説明を受けると解りやすいです。」



（翌3日目のみ、終日海事教育機構神戸分室にお世話になり、真鍮みがきや整備品の整理などの業務体験をしたそうです。）

4日目午前中は総務課で職場の皆さんに気持ちよく仕事をしてもらえるよう共用部分や物品の点検や掃除を行いました。「会議室、調停室、行政相談室がきれいになっていることに気付いていただけましたか？」 「自転車の故障も発見しました。」



午後からは、いざという時のために防災関係機器の点検を行いました。



5日目は企画推進本部において、神戸港の『観光』について学びました。

「今回の監理部情報の表紙の写真を撮ってきました。」

5日間、中学校を離れて全く知らない社会に飛び込んでくることは、本当に勇気のいる事だと思います。そこで、多くの大人と接することは、緊張や戸惑いの連続だったようです。

しかし、日を重ねるごとに、しっかりと挨拶ができるようになり、顔つきも変わってきました。私たちにおいても、挨拶の大切さを改めさせられる機会になりました。

この体験を担当していただいた、職員の皆様ありがとうございました。

(総務企画部 総務課)

神戸市「トライやるウィーク」実施要綱より

活動の趣旨

思春期にある中学生は、心身ともに大きく成長する時期であり、とりわけ自分自身を内側から強く揺り動かす性衝動や攻撃性などの葛藤が旺盛な時期である。また、将来に対する不安や否応なく迫られる進路決定への複雑な思いの中で、目的や目標を見いだせずにいる生徒も少なくない。

本事業は、生徒たちに時間的、空間的なゆとりを確保し、地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な活動や体験を通して、豊かな感情や創造性などを自ら高め、自分なりの生き方を見付けることができるよう支援するなど「教」より「育」を中心にすえた「心の教育」を推進してきた。

この実績等を踏まえ、ともすれば知育に偏りがちな教育を是正するとともに、地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育み自立性を高めるなど「生きる力」の育成を図っていくことが肝要である。

～ いざ！その時！ 我々は何をすべきか！！～

◇ 令和元年度 神戸運輸監理部 総合防災訓練を実施しました ◇

神戸運輸監理部では、「神戸運輸監理部 防災業務計画」の中で、同計画で定められている様々な災害対応活動（災害発生時時の防災体制周知、災害対策本部設置、通信連絡等）を総合的に訓練する「総合防災訓練」を、原則として9月に実施するよう定めています。令和元年度においては、9月に台風対応等の業務が重なったことから少し遅れて10月24日（木）に実施しました。

地方運輸局の主要業務は、社会情勢に合わせ様々に移り変わってきましたが、この数年では「防災」が大きな地位を占めており、特に2016年4月の熊本地震以降、政府及び各省庁で次々と新しい取組みが打ち出されるとともに、国土交通省においても毎年の災害発生都度、その反省を元に、地方運輸局に対し新たな防災対応業務が指示されているところです。



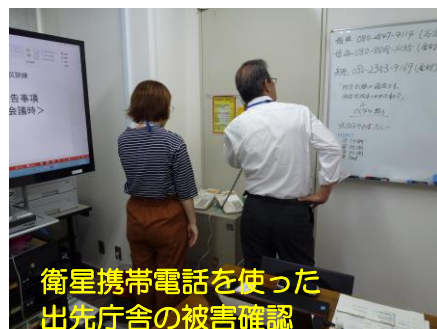
そのような中、今年度の総合防災訓練では、平成30年度に大改正した「神戸運輸監理部 業務継続計画（BCP計画）」を基に、『業務時間外に地震発生』の想定下における初動体制確保と災害対策本部設置等にかかる手順の確認と、登庁者が非常に少ない想定下で災害対応業務を維持遂行するための課題確認及び対応策検討を主題に実施しました。このほか、兵庫陸運部が昨年9月に台風21号の影響で停電となった際、通信連絡が輻輳して早期対応に支障をきたした苦い経験から、近畿運輸局の協力の元、神戸－兵庫－近畿間のWEB会議訓練も盛り込みました。

今回の訓練では、早朝05:45に和歌山県沖で地震発生、南あわじ市で震度6強を記録し、直ちに非常体制を発令となったが、地震の影響で主要公共交通機関が不通のため、職員は徒歩参集を余儀なくされる…という状況想定のもと、

- (1) 徒歩参集を余儀なくされた状況下における災対本部機能の早期立ち上げ
- (2) 災対本部における初期行動の確認・点検
- (3) 要員の少ない状況下での、各部の業務体制の確保
- (4) 本省、近畿運輸局、各出先庁舎及びリエゾンとの連絡体制確保

の訓練を行い、この中で、事前に各部で検討した想定被害発生時の対応を災害対策本部内で本番さながらに検討することで、手順と課題の確認を行う形を取りました。

このため、管理職以下の方々が訓練当日に携わる役割が少なく、職員の皆さんにはわかりにくい訓練となったことは否めませんが、実際に指揮を執る幹部職員の皆さんには、組織の全般的な状況を確認できたとともに、今後の災害対応に参考となる新たな課題発見等に繋がったものと考えています。



国土交通省では平成 28 年の熊本地震以降、地方運輸局に対し「管内に災害等が発生した場合、その発災時刻より 90 分以内に本省防災センターと被災運輸局間のＴＶ会議を実施するので、その体制を確実に構築せよ」と厳命されており、昨年度の大阪府北部地震や各地の豪雨災害時等でも、早期に本省と被災運輸局間のＴＶ会議通信が行われています。そのため、今回訓練でも本訓練開始前に徒歩参集可能な職員を対象とした「ＴＶ会議システム設置講習」を実施し、実際にシステム起動までの操作や、ＴＶ会議室への外線対応電話設置を行っていただきました。



また、神戸運輸監理部の兵庫陸運部（魚崎庁舎）は、立地が本庁舎より約 15 km離れていますが、組織上は神戸運輸監理部本局の一部門ながら、実務上の指揮命令系統は近畿運輸局が担うという、特殊な環境にあることから、神戸運輸監理部が災害対策本部を設置した際も、兵庫陸運部長は本庁舎ではなく魚崎庁舎で指揮を執ることとしています。一方で兵庫陸運部に被害等が生じた場合、兵庫陸運部長は神戸と近畿両局と密接な連絡調整を図らなければなりません。

しかし、昨年度に魚崎庁舎が停電被害に遭った際、兵庫陸運部職員の献身的な復旧努力にもかかわらず、神戸、近畿両局とも初期連絡体制を上手く構築できず、素早い支援活動ができませんでした。その反省から、今回訓練では魚崎庁舎に防災用 iPad を配置し、神戸、近畿両局と WEB 経由のＴＶ会議を行う実験を行いました。

この実験で、兵庫陸運部長が神戸災害対策本部へ参加が可能になると共に、近畿運輸局との通信連絡体制確保にも非常に有用であると確認され、令和元年度中に機材正式配備を決定しました。

訓練後の講評において、神戸運輸監理部長より「兵庫県へのリエゾン派遣の迅速化」「現地調査の必要性を考慮した交通手段確保」「災害時の緊急物資輸送への積極的貢献を目指した体制作り」等の体制確保推進を命ぜられ、今後、安全防災より各部・課にも協力をお願いすることとなりますので、よろしくお願いします。特に、災害対応の迅速化については、訓練後に本省からも対応時間の前倒し指示が出されており、リエゾン体制の見直しも行いますので、併せてご協力下さい。

防災業務は、皆さんの通常業務とは少し離れたような感じのある業務であり、ともすれば「何をやっているのかわからない」「台風の時だけやたら騒がしい」などと思われがちではありますが、国土交通省内では最重要業務とされており、いざという時に「できない」では済まされない中で、日々綱渡りをしている業務でもあります。この機会に、少しでも皆さんにご理解をいただけると幸いです
(総務企画部 安全防災・危機管理調整官)

◆ 「丹波ゆめタウン」でバリアフリー教室を開催しました！

神戸運輸監理部交通環境室は、高齢者や障害者の擬似体験や介助体験を通じて、バリアフリーへの理解を深めるとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者や障害者に対して自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」を推進するため、「バリアフリー教室」を随時開催しています。



令和元年11月16日（土）に北近畿最大級のショッピングセンターである「丹波ゆめタウン」において開催された「のってまもう！ちいきのこうつうイベント」に参加し、「バリアフリー教室」を行いました。

当日は、屋内の特設ブース周辺に、地元丹波市のマスコットキャラクター「ちーたん」、兵庫県の「はばタン」に加え、国土交通省の公共交通利用促進キャラクターである「のりたろう」も登場し、大人にも子供にも好評でイベントを大いに盛り上げました！

屋外で開催したバリアフリー教室では、アイマスクと白杖を用いた視覚障害擬似体験や神姫グリーンバスを利用した視覚障害者への介助体験を行いました。

参加者は、線状ブロックと点状ブロックの感触の違いを足の裏や白杖で体験した後、バスの乗降体験を行いました。好天にも恵まれ、子供から大人まで幅広い年代の方々に体験していただきました。



また、来場者には親子づれが多く、体験の他にバリアフリーに関するクイズにも答えてもらいました。みなさん親子で一緒に考え「困っている人をみかけたらどうする？」という問いには、「たすけてあげる。」との回答が多く見られましたが、ゆっくり「お手伝いしましょうか？」と声をかけてあげることが有効であることを説明し、多くの方に理解していただきました。

神戸運輸監理部交通環境室では、今後も、「バリアフリー教室」をとおして、「心のバリアフリー」の推進を図っていきます。

（企画推進本部 交通環境室）

◆ 倉庫業の新規登録（令和元年10月）

【事業者名】株式会社GFL

所在地	兵庫県西宮市津門川町5番28号			代表者	代表取締役 谷山 令一
倉庫の概要	倉庫の名称	物流センター			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市須磨区弥栄台3丁目15番2号	
	構 造	鉄筋コンクリート造・鉄骨造、ALC版葺、地上5階地下1階建(耐火建築物)			
	面 積	7,010㎡	登録年月日	令和元年10月3日	

【事業者名】株式会社菅長

所在地	兵庫県たつの市龍野町堂本102番地2			代表者	代表取締役社長 菅長 良行
倉庫の概要	倉庫の名称	本社倉庫			
	類 別	一類倉庫	位 置	たつの市揖西町長尾字出合324	
	構 造	鉄骨造、ガルバリウム鋼板張、ガルバリウム鋼板葺、平屋建(準耐火建築物)			
	面 積	1,034㎡	登録年月日	令和元年10月3日	

【事業者名】株式会社マルアイ

所在地	兵庫県加古川市神野町神野225番地1		代表者	代表取締役 藤田 佳男	
倉庫の概要	倉庫の名称	マルアイロジスティクスセンター			
	類 別	一類倉庫	位 置	加古川市神野町神野字本畑227番1、225番1、226番2、227番5、227番7、229番1、230番1、231番1	
	構 造	鉄骨造、ALC板張、ガルバリウム鋼板二重折板葺、3階建(耐火建築物)			
	面 積	14,402㎡	登録年月日	令和元年10月3日	
倉庫の概要	倉庫の名称	マルアイロジスティクスセンター			
	類 別	冷蔵倉庫(C3)	位 置	加古川市神野町神野字本畑227番1、225番1、226番2、227番5、227番7、229番1、230番1、231番1	
	構 造	鉄骨造、ALC板張、ガルバリウム鋼板二重折板葺、3階建(耐火建築物)			
	面 積	20,110㎡	登録年月日	令和元年10月3日	

◆ 倉庫業の変更登録（新設）（令和元年10月）

【 事業者名 】 梅田運輸倉庫株式会社

所在地	大阪府大阪市福島区福島6丁目25番11号			代表者	代表取締役 井上 眞吾
倉庫の概要	倉庫の名称	新神戸第2倉庫			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市西区見津が丘七丁目1番3	
	構 造	鉄骨造、金属断熱サンドイッチパネル張、アルミ亜鉛メッキ鋼板ダブル折板葺、4階建（耐火建築物）			
	面 積	5,732㎡	登録年月日	令和元年10月10日	

【 事業者名 】 尼高運輸株式会社

所在地	兵庫県尼崎市南初島町10番地143			代表者	代表取締役 中川 健太郎
倉庫の概要	倉庫の名称	神戸三田営業所倉庫			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市北区赤松台1丁目1番8	
	構 造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造、ALC板張、ガルバリウム鋼板断熱折板二重葺、地上4階地下1階建（耐火建築物）			
	面 積	3,985㎡	登録年月日	令和元年10月11日	

◆ 管内新造船手持ち工事量

令和元年１０月末現在

区 分		隻 数	総トン数	載貨重量トン数
国内船	工事中	1	8,000	2,000
	未起工	0	0	0
輸出船	工事中	0	0	0
	未起工	0	0	0
工 事 中 計		1	8,000	2,000
未 起 工 計		0	0	0
手持ち工事量合計		1	8,000	2,000
前年同月比		-	-	-

(注) ①総トン数2,500トン以上又は長さ90メートル以上の一般商船(旅客船を除く)で、建造着手予定届が提出された船舶もしくは臨時船舶建造調整法に基づく建造許可を受けた船舶を対象とする。

②[内訳] その他(液化水素運搬船) 1隻

(海事振興部 船舶産業課)

◆ 船員職業紹介状況（令和元年10月）

最近3か月間の船員職業紹介実績表

（単位：人）

区 分	月 別	令和元年	令和元年	令和元年
		8月	9月	10月
合 計	求 人 数	28	14	23
	求 職 数	17	17	13
	求 職 者 成 立 数	5	3	3
外 航 船	求 人 数	0	0	0
	求 職 数	0	0	0
	求 職 者 成 立 数	0	0	0
内 航 船 （旅客船を含む）	求 人 数	23	13	21
	求 職 数	11	14	8
	求 職 者 成 立 数	1	2	2
その他船舶 （曳船・作業船等）	求 人 数	5	1	2
	求 職 数	5	3	3
	求 職 者 成 立 数	4	1	1
漁 船	求 人 数	0	0	0
	求 職 数	1	0	2
	求 職 者 成 立 数	0	0	0
有効求人倍率（倍）		1.91	1.57	1.88

最近3か月間の船員の失業給付金支給実績

月 別	令和元年	令和元年	令和元年
区 分	8 月	9 月	1 0 月
失業給付金受給者実数（人）	7	5	2
失業給付金支給額（千円）	4， 0 5 6	1， 6 5 7	6 5 9

※失業給付金受給者実数とは、当月中に失業給付金を支給した者の実数である。

（海事振興部 船員労政課）

◆ 主要業務指標

(令和元年 1 1 月)

			実 績	前年同月比
1. 管内発着フェリー・旅客船方面別輸送量 (令和元年9月分)	九 州	旅 客	3 9, 9 8 0人	1 0 6. 9 %
	方 面	車 両	3 0, 4 9 6台	1 1 4. 9 %
	淡路四国	旅 客	1 0 5, 4 0 1人	1 0 7. 2 %
	方 面	車 両	2 2, 1 9 4台	1 0 6. 3 %
2. 神戸港起点遊覧船乗船者数 (令和元年9月分)	総 数		4 2, 9 4 0人	1 0 1. 4 %
	内：レストランシップ [°]		2 3, 0 7 1人	9 9. 0 %
3. 神戸港内貿貨物量【速報値】 (令和元年7月分)	純 内 貿 貨 物 量 (フェリー-貨物除く)		6 3 2千トン	9 7. 8 %
	中 継 貨 物 量		5 7 7千トン	1 1 5. 9 %
4. 神戸港コンテナ船入港隻 (令和元年7月分)			3 5 3隻	1 0 5. 4 %
5. 神戸港外貿コンテナ貨物取扱量【速報値】 (令和元年7月分)	総 量		1 9 1, 7 6 8 TEU	1 0 9. 4 %
	内：トランシップ [°] 貨 物		9 2 3 TEU	1 7 2. 8 %
	内：内航フィーダ [°] 貨 物		2 4, 1 0 6 TEU	1 0 8. 7 %
6. 神戸港港湾労働者数【速報値】 (令和元年10月末現在)	総 数		5, 5 0 4人	9 9. 7 %
	内：船 内		1, 1 7 3人	9 7. 4 %
	内：沿 岸		3, 4 7 8人	9 9. 6 %
7. 神戸市内倉庫貨物入庫量 (令和元年9月分)	普 通 倉 庫		4 7 3千トン	1 1 7. 0 %
	冷 蔵 倉 庫		8 5千トン	9 5. 2 %
8. 神戸市内倉庫貨物保管残高 (令和元年9月分)	普 通 倉 庫		9 5 9千トン	9 9. 6 %
	冷 蔵 倉 庫		1 7 5千トン	1 0 4. 7 %

(注) ① 3. の中継貨物量は、神戸港輸入貨物を国内他港へ移出したものと及び神戸港輸出貨物で国内他港から移入したものである。

② 5. のトランシップ貨物は、外航船で輸送して来た貨物を神戸港で他の外航船に積み替えて輸送したものである。

③ 5. の内航フィーダ貨物は、神戸港で取り扱った外貿コンテナのうち、国内他港に移出したものと及び国内他港から移入したものである。

④ 3. 4. 5. の資料出所は、神戸市みなと総局であり、6. の資料出所は、神戸公共職業安定所神戸港労働出張所である。

⑤ 7. 8. の資料出所は、兵庫県倉庫協会及び兵庫県冷蔵倉庫協会である。

(総務企画部企画課、海事振興部旅客課、貨物・港運課)

◆ 12月の行事予定

日 程	行 事 / 場 所	担 当 課
10 日 (火)	年末年始輸送安全総点検開始式・合同訓練 ／ コンチェルト(神戸ハーバーランド高浜岸壁)	総務企画部 安全防災・危機管理 調整官
11 日 (水)	家島諸島航路の確保・維持に関する検討委員会 (第2回) ／ 姫路港管理事務所	総務企画部企画課 (企画観光室)
17 日 (火)	近畿地方交通審議会神戸船員部会最低賃金部会 (旅客) ／ 神戸第2地方合同庁舎	海事振興部 船員労政課
20 日 (金)	近畿地方交通審議会神戸船員部会 ／ 神戸第2地方合同庁舎	海事振興部 船員労政課

(総務企画部 総務課)

◆ 11月の記者発表状況

日程	発表事項	担当部課
1日	「めざせ！海技者セミナー in KOBE」の参加事業者を募集します ～船員を目指す方への就職面接会・企業説明会～	海事振興部 船員労政課
1日	安全で快適な船旅の提供と乗組員の資質向上のために ～家島港（真浦港）で、小型旅客船の消防訓練を実施します～	姫路海事事務所
5日	貸切バスに対する街頭監査の実施結果について	兵庫陸運部 監査部門
7日	トライやる・ウィークで海や港の仕事を学ぶ ～船員の大切な宝物を発給する体験～	総務企画部 総務課
11日	丹波初！のって学ぼう！心のバリアフリー ～丹波ゆめタウンでバリアフリー教室を開催します～	企画推進本部 交通環境室
15日	「瀬戸内クルーズセミナーin 博多」を開催します ～クルーズ客船があふれる瀬戸内海の実現に向けて～	総務企画部 企画課
19日	神戸発展の歴史に港が深い関係 ～船や港の大切さ・役割を出前授業で～	海事振興部
25日	「心のバリアフリー」ってなんだろう？ ～明石市立小学校でのバリアフリー教室に注力～	企画推進本部 交通環境室
26日	輸送の安全・安心をめざす安全総点検を開始 ～点検初日「津波避難訓練」を実施 初動対応確認～	総務企画部 海上安全環境部
26日	海を舞台に働く船員が子供たちに教える ～神戸地区で初開催！労働団体と連携して出前授業～	海事振興部

（総務企画部 広報対策官）

11月後半に差し掛かると、ようやく紅葉の季節になりました。モミジの赤色やイチョウの黄色といった目に鮮やかな風景は心が温まります♪
いよいよ2019年締めくくりの12月です。こうべえは皆さんの本年ラストスパートを応援しています！



神戸運輸監理部マスコットキャラクター

「こうべえ」